

認定看護師会お便り

2022年7月 認定看護師会

暑さがきつい季節となりました。みなさん、お体の調子はいかがでしょう。
本年度は、認定看護師の活動を知っていただくために、各認定看護師をご紹介します
7月号は、認知症看護認定看護師・小林理恵子さん、訪問看護認定看護師・花岡雅子さんです

認知症看護認定看護師・小林 理恵子さん

Q自己紹介をお願いします

丑年・牡牛座です(年齢はご想像にお任せします)、そのためか「ぼーっ」と過ごすことが大好きです。反面、気が短い所もあります。海外ドラマを見ることが好きです(英語は全くできません)。最近は、恋愛ものを見ても、ドキメクことがなくなってしまう悲しいです。

Qどんな活動をされているか教えてください

水曜日の午前中はもの忘れ外来で、認知症の方やご家族の相談をお受けしています。週2日は、認知症ケアチームで、各病棟にラウンドし、入院中の認知症の方の様子を伺い、病棟看護師と共によりよいケアが提供できるように話し合っています。また、中野市の認知症初期支援チームのチーム員として、月1度活動に参加しています。

Q認定看護師になろうと思った理由は？

看護師として経験を積んでいくなかで、何かしらのスペシャリストになりたいな、とおぼろげに考えていました。諸先輩からの助言もあり、認定看護師を目指しましたが、認知症看護を選んだ理由としては、認知症だった祖父の影響は大きかったと思います。現在、認知症看護認定看護師になり、10年が経過しました。認知症の方やご家族と接することで、いろいろ学ばせていただいています、益々楽しさも感じています。認知症の方やそのご家族と共に歩めるような看護師でありたいと考えています。

Qセールスポイントは？

最近はおからを煮ることが得意になりました。お弁当には必ずゆで玉子を入れています。(あれ、食べ物の話しかしてない)

Qみなさんへのメッセージ

もしかしたら、一見恐そうに見えるかもしれませんが、それなりに愛想(愛嬌もあるby花岡)の良いおばちゃんですので、気軽に声をかけていただきたいです。

できる限り、ご相談をお受けしたいと思います。



～スタッフさんから見た小林さんはこんな人～

理恵子さんは、“**アツい方**”です。まず、認知症のみならず、さまざまな分野の知識が**厚い**です。わからないことは理恵子さんに聞けばなんとかなる、といつもおんぶにだっこです。また、患者さんやスタッフへの愛情が**熱い**です。共感性が強く、患者さんの立場に立って看護を組み立てている様子は大変勉強になります。ときどき口を吐くスパイシーな毒舌も我々スタッフのことを思っていることと信じております。

* 裏面もあります

訪問看護認定看護師・花岡 雅子さん

Q自己紹介をお願いします

自称20代・牡牛座・A型です。ちょこちょこいろいろな病棟に出没します。喜怒哀楽が激しいので、病棟スタッフさんと豆大福に癒やされています。特技はいらないものをポンポン捨てることです。

学生時代は、メジャーを首からさげ某大手下着メーカーのアルバイトに明け暮れていました。看護師になってからは、通信教育で製菓学校に通っています。生まれ変わったら、〇戸市立△子動物園のパンダの飼育員になりたいと思っています。今は、◎温泉にはまっています(…が鳥の行水です)。

Qどんな活動をされているか教えてください

担当する病棟の退院支援・退院調整を、病棟看護師さんやMSWさんと一緒に行っています。

また、地域の住民の皆さんに、ACP(アドバンス・ケア・プランニング)を知っていただく活動をしています。ACPとは、「もしものときのために、自分の大切にしていることや希望、どのような医療やケアを望んでいるかについて考えたり、話し合ったりすること」です。

Q認定看護師になろうと思った理由は？

集中治療室から始まった私の看護師人生。訪問看護は私の天職だと思いました。訪問したその時間を、その利用者さん(在宅では、患者さんのことを利用者さんと呼びます)やご家族のためだけに使えることが、楽しくてうれしくて、充実感を感じていました。これからもずっと訪問看護をやるためには認定看護師になるしかないと思い、訪問看護認定看護師になりました。

今は、その経験を生かしながら退院支援看護師をしています。

Qセールスポイントは？

在宅生活の妄想・想像は得意です。

コミュニケーション力は高めです。

おいしいものにはアンテナが動きます。

最近やっとコーヒーが飲めるようになりました(種類限定)。

Qみなさんへのメッセージ

退院後の生活が想像できない、不安なことなどどんなことでもいつでも相談してください。



～スタッフさんから見た花岡さんはこんな人～

患者さんやご家族の目線から在宅療養の課題や対策を考えられるエキスパートナースです。患者さんからも頼りにされ、身寄りのない患者さんからは家族同然のように相談の電話が鳴ることもありました。明るく包容力もあり、困っているときは一緒に悩み調べてくれ、的確に指示してくれます。訪問看護のノウハウを一から教えてもらい、花岡さんの背中を見て育ちました。今でもスタッフがいつも元気に訪問できるように気軽に声をかけてくれ、活力を与えてくれる頼れる大先輩です。